

幼稚園だより

令和5年9月29日

墨田区立八広幼稚園

園長 金澤 里美

-10月号-



秋と言えば

園長 金澤 里美

小学生の頃、本が好きな子供だったので、10月といえば少し忙しいけれどもワクワクする時期でした。どうして忙しいのかというと教科書の「下」が配られるから！私にとっては教科書も「楽しい読み物」のひとつだったのです。新しい教科書が順番に配られる間、どの教科から読もうか。ん〜、やっぱり「国語」かな。表紙がすてきなものはこれだな…などと思いをめぐらせていたものです。まさに、読書の秋！？

その中で、理科の教科書は学校で習うよりも先に読んでしまうのか、やめておくのかと、とても悩ましい存在でした。「答えが書いてあるなんて、これから先のワクワク感がなくなってしまう…」というような気持ちだったのだと思います。(でも結局読んでいました) 真新しい教科書には知らないことがたくさん書いてあって、読むと一気に知識が増えたようなうれしさを感じることができたのですが、当時の私はそこから新たな興味や疑問につながるものが少なかったように思います。今なら当時の自分に、「答えとして書いてあることも、それが全てとは限らないよ！」「読んだだけでは分からないことも、ものすごくたくさんあるよ！」と言いたい気持ちでいっぱいです。

八広幼稚園の子供たちも、絵本や図鑑が大好きです。やはり新しいことが分かるとうれしくて、私にもいろいろなことを教えてくれます。そして、本には載っていないことにもたくさん気づき、時々、「これはどうして？」「本当にこうなの？」ということと話している子がいると、「どうしてだろうね」「○○ちゃんは どう思う？」などと、私も仲間になり一緒に楽しんでいます。昨日はうさぎ組が園庭で研究所をつくっていたので何の研究をするのか教えてもらったら、「ブドウとフウセンカズラの研究をしている」とのことでした。私たちのまだ知らない何かを発見するかもしれないと、とても楽しみです。秋といえば、やはり読書の秋！の私ですが、目の前にいる子供たちの姿から、これからもたくさんのことを学んでいきたいと思いました。

【10月のねらい】

うさぎ組

- 学級の友達と一緒に体を動かして遊ぶことの楽しさや心地よさを感じる。
- 秋の自然に自分なりに関心をもち、親しむ。

ぞう組

- 学級の皆と一緒に活動を進め、気持ちを合わせる心地よさや、やりとげた満足感を味わう。
- 自分なりにめあてをもち、様々なことに根気よく取り組む。